



大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会



## 赤川ほたる保存会結成40周年を迎えて

保存会長 松田 勉

本会は、農薬や家庭排水などによる水質汚濁、河川改修工事によるコンクリート護岸などで、生息数が激減した赤川ほたるの復活を願い、昭和58年4月に12名の有志によって結成されました。そして、初代筒井英雄会長様や恩田哲男専門委員長等にご尽力いただき、「大東町ほたる保護条例の制定」や、「生物の生息・育成・繁殖環境の保全に配慮した河川改修」に向けた提案など精力的に取り組まれました。現在、個人会員165名、団体会員12団体が加入いただき、ホタルの養殖・放流、保護PR活動や河川の清掃、小中学校でのホタル学習など幅広い保護活動により、次第にホタルの発生が各地でみられるようになりました。誠に嬉しい限りです。

40年の節目にあたり、先人の皆様のご尽力に敬意と感謝をささげますとともに、私たちの活動がより発展的に前進することを願っています。

(令和5年6月7日 記念式典開催)

### 赤川ホタルの来歴

1750年頃に藩主松平不昧公が京都宇治の製茶法を大東に伝授させた時、ゲンジボタルを持ち帰り赤川に放流したと伝えられている。その後ホタルの自然繁殖が進み、大正から昭和の初めにかけて運行された簸上鉄道のホタル鑑賞臨時列車が出雲大東駅で長時間停車し、ホタルの乱舞を大いに楽しませたという。また、昭和3年には赤川ほたるを天皇陛下に献上し、「献上ぼたる」として名声を高めた。(大東町誌より)



保存会40周年式典で雲南市より  
恩田哲男さんに感謝状贈呈  
(ホタルの保護に貢献)



赤川へホタルの幼虫を  
放流する子どもたち



ほたる公園の草刈り  
(保存会会員の河川掃除作業)

# 第41回 大東よいとこ祭



— 10月15日(日)開催予定 —

大東よいとこ祭が大東地域交流センター(駐車場)を主会場としてステージイベント、文化展、テント村など4年ぶりに開催されることになりました。



昭和57年の「くにびき国体」バドミントン会場、クレー射撃会場として全町挙げて取り組み、大成功を収めたそのエネルギーを起爆剤にして、次なる町の発展につなげようと商工会青年部、農青連が中心となり「大東ふるさと振興事業実行委員会」が創立され、新しい大東のまちおこし事業がスタートしました。中心的事業のひとつとして昭和58年11月に第1回大東よいとこ祭が盛大に開催され、「自分たちの町を魅力と活力あるものにしていくにはどうすればよいか」熱き挑戦が始まりました。昭和63年には大東よいとこ音頭(作詞:川上祥吉)、大東よいとこ踊り(振付け:足立とも子)が完成し、祭を一段と盛り上げることとなりました。



第2回大東よいとこ祭 みんなが主役17,000人の愛



## 新庄住宅団地が完成 分譲開始!

新庄住宅団地(20区画)の竣工式が、6月7日(水)土地提供者を始め、関係者出席のもと盛大に執り行われました。

この新庄住宅団地造成事業は、市内の人口流失の防止と若い人の移住・定住を促進するために大東地区振興会で空き家の調査と利活用や、移住定住希望者への協力支援を行う等推進を図ってきた中、地元協力のもと今回に至ったものです。

竣工式では、雲南市土地開発公社の西川常務から事業概要の説明があり、続いて、矢壁市議会議長の来賓祝辞、感謝状の贈呈では3事業者へ、地元代表挨拶では水戸大東地区自治振興協議会長から「団地に家が建ち、人が住み賑わいが創設されてこそ目的が達成される。それまで自主組織として、協力をしていく」とのお礼の挨拶がありました。

団地の環境としては、近くを通る県道松江・木次

線の道路拡幅、歩道整備が進められており、通勤・通学の便が良く、大東小学校、保育園等の学校やコンビニも

近く、周囲は自然にも恵まれています。この団地の分譲開始が7月上旬から始まりました。ご希望の方はお早めに雲南市土地開発公社(Tel.42-2241)へご連絡ください。また、お知り合いの方への紹介もよろしくお願ひします。

平成28年にスタートしたこの事業により、人口減少対策、移住者定住に向けての役割と地域の賑わいを醸し出して行くことを願うばかりです!



# 大東小学校創立150周年記念事業



創立150周年  
キャラクター  
「さくライオン」

## あの頃の私たち

(開校150周年を迎えるにあたって)

いつの間にか大東小学校を卒業して60年になり、当時の時代は・・・？ まず思い出したのは『♪ああ、赤川の源清く真澄める流れ鏡となしてー』大東小学校校歌でよく歌いました。木造校舎で、木枠のよく割れた教室のガラス窓。昇降口の高かった下駄箱。講堂であった朝礼は生徒でいっぱいになり・・・裸足で駆け回った校庭やコンクリートの足洗い場等が浮かんできます。

小学校前を流れる赤川に木橋がいくつかあり、大雨で度々流されたその無残な姿が焼き付いています。豪雨で道が削り取られ、時には畑や田んぼのデコボコ道が通学路でもありました。

下校時、赤川増水危険があれば、小学校から田中→織部→古城→さらに山道「金穴（カナナ）」

三刀屋町 加藤 澄子（越戸出身 旧姓小山）

に出て、やっと我家に着きました。（山越し）

時は過ぎ、今、赤川の流れに沿って「東大橋」小学校前の「おしえ橋」「たかやなぎ橋」「こうりや橋」「神田橋」「赤川大橋」「西大橋」が出来、以前の面影はありません。

小学校登校時、「こうりや橋」付近になると聞こえてくるのが『♪八雲の山の朝雲をうつして清い赤川に…ああ大東はおおらかに希望の虹をかける町。』と、丸子山から流れていたのでしょうか？大東町民の歌でした。今でも歌えます。

6月中旬、大東赤川ホテルが今年も乱舞していると聞き、小学生時代に家の前の谷川でホテルを取り、紙袋に入れたあのうっすら、やさしい光と手についた匂いも懐かしく思い出しています。



昭和35年頃の大東小学校校舎

### 制作中記念誌の一部紹介

コラム

#### 新制大東高等学校初代校長 野々村運市氏 ～ 明治23年度大東尋常小学校卒業生 ～



野々村運市氏は我が国の教育界で広くその名を知られた教育者である。

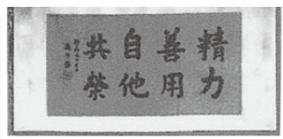
明治13（1880）年2月20日生まれ。大東尋常小学校卒業後、32（1899）年に島根師範学校を卒業し、大東村尋常小学校に2年間（明治33～34年）第10代校長として在職。その後、東京高等師範学校に入学し40（1907）年に卒業。東京府豊島師範学校附属小学校などに勤務した後、大正10（1921）年に東京高等師範学校専攻科に入って教育学を専攻された。昭和

4（1929）年東京高等師範学校教授に就任し、定年退官後、23（1948）年から1年間新制大東高等学校初代校長を務め、28（1953）年に東京で逝去された。

23年に発足した大東高校の連合卒業生会は同氏により「八雲会」と命名され今日に至っている。

『教育と教授法』『教科目新経営論』など多数の著書がある。

小学校に現存する「精力 善用 自他 共栄」の4つの文字が書かれた額は、野々村氏の親友であった講道館柔道の創始者、嘉納治五郎氏により贈られたものである。



嘉納治五郎氏寄贈の「精力 善用 自他 共栄」の額

150周年記念の  
Web特設サイト  
公開中

創立150周年を記念して、特設サイトを期間限定で公開しています。この中には記念のインタビューや歴史写真、人文字の撮影の動画などが掲載されています。

下のQRコードを読み取っていただくとアクセスできます。是非、ご覧ください。





平成9年に新制中学校  
創立50周年を迎えた大東中学校

### え!? ニセアカシアの花 当時の中学校グラウンドにありましたっけ

悠々広場造成と道路整備で根もとから2mほどの高さまで埋め立てられたニセアカシアの木。最近になってきれいな花が咲きだしました。花言葉は「友情」「親睦」

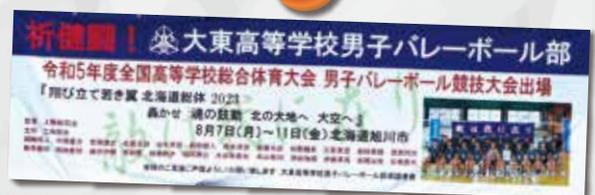


オオタススタジオ前の  
ニセアカシア



### 恩田晴雄さん切り絵遺作展

28年前に80歳で亡くなられた神田町の恩田晴雄さんは、生前に国家公務員として農水省に奉職する傍ら、趣味のアコーディオンやハーモニカ、切り絵などを楽しんでおられました。かつて個展も開かれたその切り絵作品24点が、8月31日まで大東地域交流センターロビーで展示されています。



### 祝 全国大会出場 大東高校インターハイ出場 おめでとうございます。

「翔び立て若き翼 北海道総体」

男子バレー競技：北海道旭川市会場 8月7日～11日  
女子ソフトボール競技：北海道石狩市会場 7月28日～8月1日

最後まで力を出し切って、  
悔いのない大会にしてください。

### 4年生の 大東七夕祭学習



### 2年生の西瓜提灯 づくり親子活動



### 大東小学校地域とともに取り組むふるさと学習

地域の「伝統」「文化」を「守り」「伝える」

### お知らせ

- 7月26日(水) 大東恵美須祭
- 7月31日(月) おおぎ橋下親水公園「阿用川の生きものさがし」
- 8月6日(日) 大東七夕祭
- 10月14・15日 第44回大東町文化展
- 10月15日(日) 第41回大東よいとこ祭
- 11月12日(日) 大東小学校創立150周年記念式典





# 小さなチャレンジが自信をもたらす!

大東高校3年 陶山 初実



私は雲南市教育委員会主催のスペシャルチャレンジJr.プログラムに参加し、認知症についてあまりよく知らない人向けのパンフレットを作りました。

最初に認知症について知るため、専門家や関係団体にインタビューしました。そこで得られた情報をもとに、デザイナーさんと何度も打ち合わせを重ね、物忘れとの違いに関するチェックリストを作ったり、認知症の家族を持つ人の実体験を掲載したりと、工夫を盛り込みました。製作したパンフレットは市内の交流センターや図書館に置いていただきました。現在認知症の親族を持つ人や、近い将来認知症になる

可能性が高い世代に手に取っていただき、知識を増やしてもらえたら嬉しいです。

私は人前で話したり電話したりすることが苦手でしたが、勇気を出してやり遂げることができました。協力してくださった方には「応援しているよ!」と優しく声をかけていただき嬉しかったです。

プロジェクトを通して学んだことは、小さな行動を積み重ね、何事にも挑戦する大切さと、地域の人の暖かさです。来年大学生になるので、今回学んだことを活かして将来に繋げていきたいと思っています。



## 「はあ〜せつ!!」

野々村歯科医院 院長 野々村篤史

一筆書くにあたって何にしようかととても迷いましたが、仕事関係の歯、それも歯の喪失にまつわることにしたいと思います。

歯が駄目になる(失われる)原因として虫歯菌による歯質自体の溶解、歯周病により歯を支える歯肉や骨の退行による脱落などが考えられると思いますが、その他、以外に多いものに歯の破折(歯が折れたり、割れたり)があります。そしてこの破折の場合は、虫歯や歯周病が原因の場合と異なり、歯根の奥の方まで割れてしまうと残念ながら抜歯のやむなきに至る場合がほとんどになるのです。若い頃の歯がプラスチックでだんだん年を取ってくるとセト物に変化してくることを想像してみると分かりやすいと思います。硬い物を食べている時にいきなりパキッと割れたり、折れたりするのです。

世の中、硬くて美しい食べ物は沢山あります。それ故に皆様も十分御注意ください。皆様の御健咬を祈っております。



(絵:大東町東町北 細田 滋)

## 図書館だより

### 奥出雲多根自然博物館

第3弾

### ×雲南市立図書館コラボ企画

「貝、みつけた!」大東図書館では、古代に生きていためずらしい貝を展示します。シールをはって貝の標本カードを完成させると、プレゼントがもらえます。市内の木次・加茂図書館、奥出雲多根自然博物館でも展示しています。



「貝、みつけた!」キャラクター ミッシェル 雲南市立図書館

期間 7月26日(水)~8月27日(日)  
開館時間 10:00~18:00

電話 0854-43-6131  
期間中休館日 毎週金曜日・祝日・12日(祝・振替)・月末

＊暮らしと文化＊

## 戦時下の大東七夕祭りの考察について

中町自治会 青木 一成

小生が初めて七夕祭りに参加したのは1943年（昭和18年）7月下旬の夏休みに入ってからのことで、当時の大東町立大東国民学校初等科1年生の時でした。1・2年生は前年使用した短冊を倉庫から取り出して、「こより」のなくなった短冊に新しい「こより」を付ける作業から始めました。「こより」は和紙でないと作ることができません。また、色紙の短冊は当時戦時体制の為製造されていないの



昭和30年頃の大東七夕祭

で貴重品でした。そのため毎年大切に保管し、前年使用した短冊を当年度大切に使って次年度へと送ったものです。

また、戦時下の七夕行列は灯火管制のため、午後3時頃に各宮が小学校校庭に集合して同4時頃出発、同5時頃に行列行事が終了しました。七夕祭の行列は夜祭で米国敵飛行機の攻撃目標になるため、明るい時間帯に行列を終えるよう、県の指導がありました。

小生が1945年（昭和20年）8月6日午前8時過ぎ、金成の清田川沿いから切り取った笹竹を持ち帰り、祥雲寺の山門付近にすげて短冊を付けている時、広島市に新型爆弾（原子爆弾）が投下され、再び草木も生えず、人間も生活することができなくなるとなったとラジオのニュース報道がありました。それから15年の歳月が経過した昭和35年4月に、勤務先の人事異動で東京から広島支店に転勤となり、此の地で生活することになるとは。人生と云うものは全く以って想定しえない、そこには何か因果関係が存在しているような錯覚さえ見る思いです。

## めずらしい羽釜と学童疎開

大東の歴史をたずねる会 会友 恩田 仁志

戦時中に使われた羽釜の圧力釜です。普通の羽釜には木の蓋が付いていますが、これは鋳物の重い蓋がセットになっています。重さは約10kg。蓋には圧力調整弁と圧力逃しコックが付いており、四方からネジ式で締める金具によって釜内部の圧を高めるようになっています。製造したのは（株）大王商会といい、大阪市天王寺区に今もある会社です。玄米を炊飯するために使われたようです。

この会社から5kmほどの所に、大阪市立九条東小学校があります。この学校は戦時中は大阪九条東国民学校といい、児童は昭和19年から終戦まで、大東及び木次町内に集団学童疎開しています。大東では、祥雲寺（上町）、宗専寺（上町）、長安寺（清田）、弘安寺（海潮）、洗刃寮（場所不明）の5ヶ所に分かれて滞在していました。大東町誌などに詳

細が記されています。

写真の圧力羽釜は、長安寺に現存するものですが、祥雲寺にも同じものがあつたとのことで、疎開児童と一緒にもたらされたと考えられます。もちろん他寺にも存した可能性があります。



真横から撮った羽釜



斜めから撮った羽釜

### 令和5年6月末現在の人口・世帯数

( )内は対前々月比

	総人口	男性	女性	世帯数	高齢化率
雲南市	35,343人 (-72人)	17,086人 (-17人)	18,257人 (-55人)	13,594世帯(±0世帯)	40.62%(+0.11%)
大東町	11,289人 (+9人)	5,520人 (+12人)	5,769人 (-3人)	4,119世帯(+8世帯)	40.55%(+0.04%)
大東地区	3,365人 (+7人)	1,635人 (+9人)	1,730人 (-2人)	1,283世帯(+5世帯)	

資料：雲南市HPより